

開梱

Vess の箱には以下のアイテムが同梱されています。

- Vess J3600s 本体
- 1.5m (4.9ft) 電源コード
- ラック取付用スライドレール部品
- SFF-8644 外部 SAS ケーブル
- DB9-to-RJ11 シリアルデータケーブル
- クイックスタートガイド (本書)

ご注意

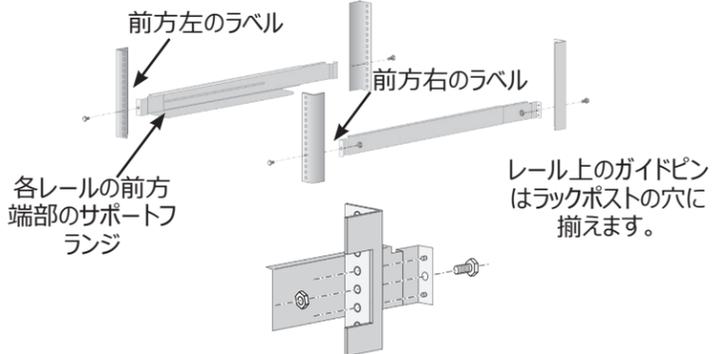
筐体の重量を軽くするため、全てのドライブキャリアを取り外してください。ユニットをラックに取り付けた後、ドライブキャリアを元の場所に戻します。

ラックへの取付け

Vess J3600s 3U 筐体をラックに取り付ける前に、重量を軽くするためハードディスク付きのドライブキャリアを取り外します。

同梱の取付用レールを使って、Vess J3600s をラックに取り付ける：

1. 取付用レールとラックシステムの適合性を確認します。
2. 取付用レールの長さを調節します。
 - 後方レールのスライドを前方レールにスライドさせます。レールの半分が一緒に固定されます。調整ネジは使用しません。
 - 前方左と前方右の取付用レールの両端に印が付いています。
 - 前方レールのサポートが内側を向いて底面の上に置かれていることを確認します。
 - 前方と後方、すべてのレール端部はラックポストの外側に取り付けます。



- レール端部のガイドピンをラックポストの穴に揃えます。
- お使いのラックシステムのフランジナットと取付ネジを使用します。ラックシステムの説明書に従ってネジとナットを締めます。Vess J3600s 筐体をレールの上に置きます。

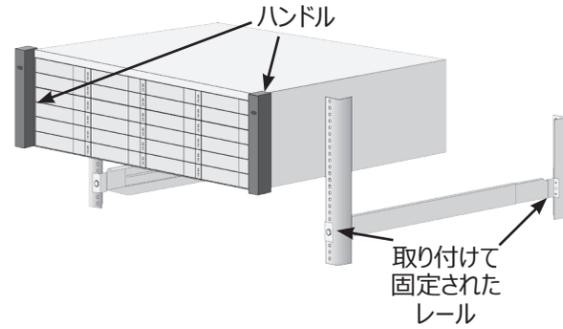


ご注意

筐体をレールの上に安全に配置するには2人の人員が必要です。ハンドルを使って筐体を持ち上げないでください。

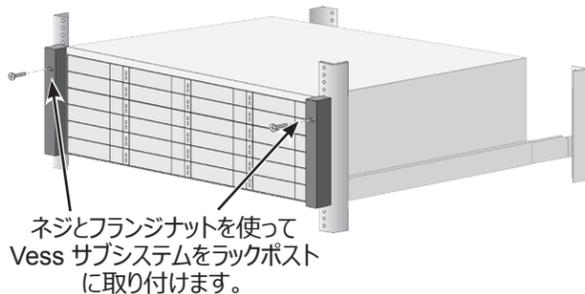


- 筐体を安全に持ち上げるには少なくとも2人での作業が必要です。
- Vess J3600s 筐体を持ち上げてください。ハンドルを使ってサブシステムを持ち上げないでください。



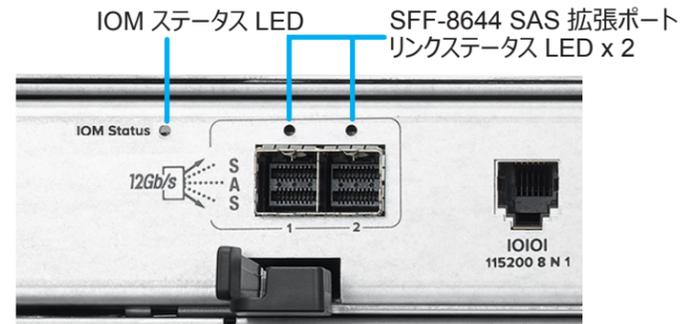
3. Vess J3600s をラックに固定します。

- ネジとフランジナットを使って筐体をラックポストに取り付けます。ネジは両側に1つずつ、上の穴のみに取り付けます。
- Vess J3600s に同梱されている取付ネジとフランジナットを使用します。



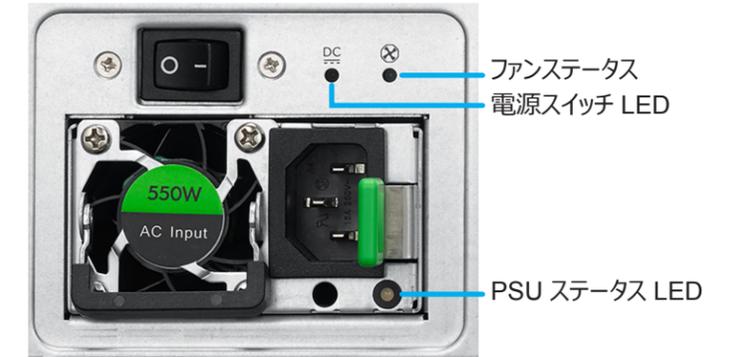
背面の LED

コントローラ LED



LED 名	ステータス	説明
IOM ステータス LED	消灯	消灯
	緑	準備完了
	赤	FWの準備ができていません
SFF-8644 SAS 拡張ポートリンクステータス LED	消灯	リンクダウン
	緑に点灯	リンクアップ
	緑に点滅	動作中

電源 LED



LED 名	ステータス	説明
PSU ステータス	消灯	検出なし
	緑に点灯	通常
	緑に点滅	電源オフでスタンバイモード中
電源スイッチ	赤	異常
	消灯	検出なし
	緑	通常
ファンステータス	赤	異常
	消灯	検出なし
	緑	通常

前面の LED

右ハンドルの前面 LED



	LED 名	ステータス	説明
1	電源	消灯	システム電源オフ
		青	システム電源オン
2	グローバルリンクロージャのステータス	消灯	システム電源オフ
		緑	OK/正常
		黄	機能不良
		赤	クリティカル
3	I/O モジュール1のアクティビティ	消灯	I/O なし
		青に点灯	リンクされているI/O および SAS拡張ポートがない
		青に点滅	I/O 実行中
4	I/O モジュール2のアクティビティ	消灯	I/O なし
		青に点灯	リンクされているI/O および SAS拡張ポートがありません
		青に点滅	I/O 実行中
5	ハートビート	消灯	システム電源オフ
		青に点滅	IOM FW 動作中 (デュアル IOM の場合2秒ごとに点滅、単一 IOM の場合4秒ごとに点滅)

ドライブキャリア LED



LED 名	ステータス	説明
ディスクのステータス	消灯	ドライブが未設定
	緑に点灯	ドライブを構成済み
	緑に点滅	ロケータ機能
	黄	ドライブを再構築中
	赤	ドライブエラーまたは異常
電源/アクティビティ	消灯	ドライブが見当たらない
	青に点灯	ドライブあり
	青に点滅	ドライブが動作中

JBOD拡張セットアップ

JBOD拡張には、各JBODユニット毎に SFF-8644-to-SFF-8644 外部 SAS ケーブルが1本必要になります。Vess J3600sSは Vess A6000 シリーズおよび Vess A7000 シリーズ用です。各 Vess R3600 に対して最大12台の Vess J3600s ユニット、各 Vess A6000 または Vess A7000 ユニットに対して、最大5台の Vess J3600sS を使用できます。Vess R3600s にはデュアルコントローラが搭載されているモデルもあり、デュアルコントローラ Vess J3600sD に接続することもできます。下記の例を参照してください。

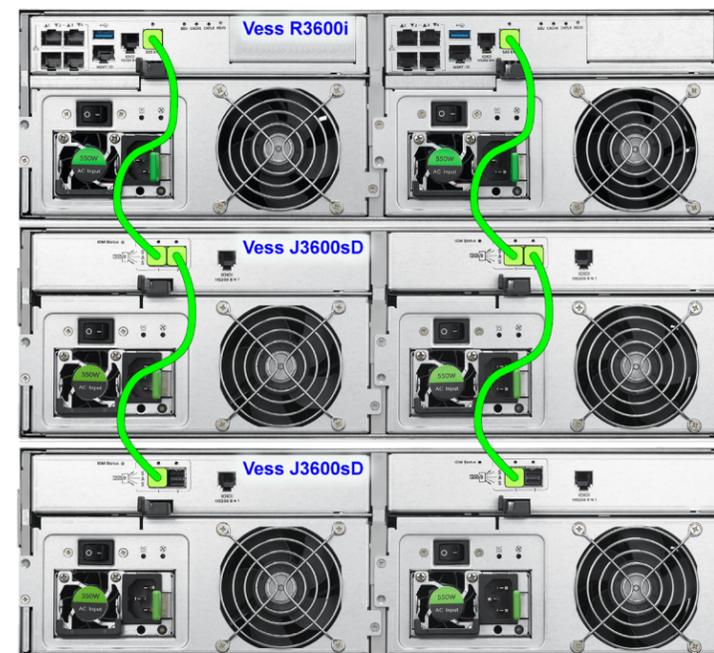
SAS をVess R3600、Vess A6000、またはVess A7000モデルにカスケード接続する場合は、SFF-8644 外部 SAS ケーブルを使用して次の作業を実施してください。

デュアルコントローラ拡張 (Vess R3600sD)

冗長 JBOD カスケード接続の設定方法：

- Vess R3600sD に同梱されている SFF-8644 外部 SAS ケーブルを使用して、Vess R3600sD の左コントローラにある SAS ポートを、ラックの一番上にある Vess J3600sD の左コントローラにある SAS ポート 1 に接続します。
- 同じVess J3600sD の左コントローラにある SAS ポート 2 を、スタック内の次にくる Vess J3600sD の左コントローラにある SAS ポート 1 に接続します。
- 同様に、Vess R3600sD の右コントローラにある SAS ポートを、スタック内にある Vess J3600sD の右コントローラに接続します。
- 残りの Vess J3600sD を同じやり方で接続します。

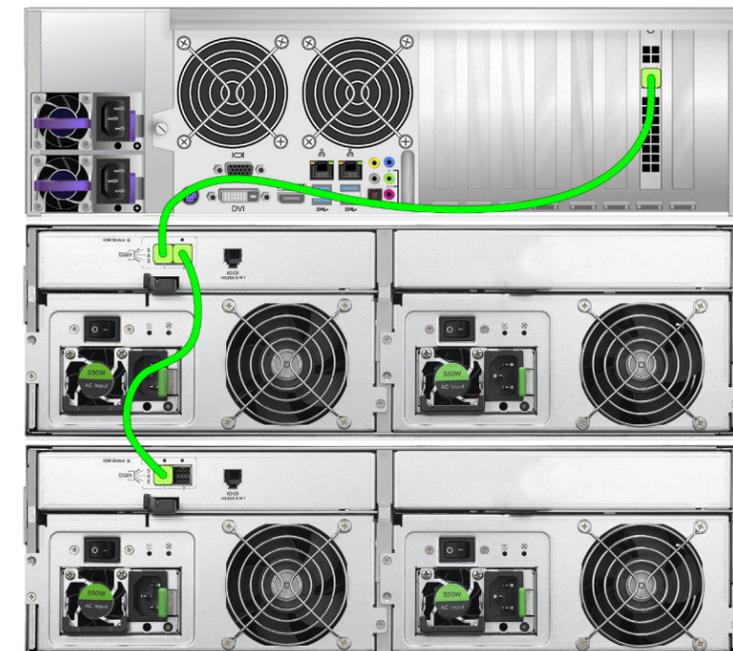
Vess J3600sD JBOD で Vess R3600 を拡張



シングルコントローラの拡張

- ホスト Vess R3600、Vess A6000、または Vess A7000 システムの SFF-8644 SAS ポートを、ラック内の一番上にある Vess J3600sS ユニットの SAS ポート 1 に接続します。
- 同じ Vess J3600sS の SAS ポート 2 を、スタック内の次にくる Vess J3600sS の SAS ポート 1 に接続します。
- 残りの Vess J3600sS を同じやり方で接続します。

Vess J3600sS JBOD で Vess A6000 を拡張



電源接続

付属の電源ケーブルのメス型端子を各電源供給ユニットの電源ケーブルレセプタクルに差し込み、もう一方の端を適切な電源コンセントに差し込みます。各々の Vess J3600 には電源が2つあります。



重要

必ず最初に JBOD サブシステムの電源を入れてください。